

令和7年度総体 大会注意事項

総体個人戦の閲覧画面 URL: <http://www.wada-system.jp/hhst/look.html>
各会場からの連絡等は上記閲覧画面で確認すること。

《 個人戦の注意事項 》

1. 選手は、試合開始 15 分前にテニスの服装をして、本部に出席を届けなければならない。出席を届けない選手は失格となる。
2. 試合前の練習は、原則としてサービス 4 本のみとする。大会本部が認めた場合のみ 3 分の練習が認められる。
3. 審判は、すべてセルフジャッジで行う。
4. 勝者は、試合終了後試合相手に対してスコアを確認し、直ちに結果を本部に届けること。
5. 予選は、原則として敗者ボールとする。
6. 予選はすべて、1 セットマッチ、6-6 にて 12 ポイントタイブレーク方式で実施する。
7. 本戦は、日程表に基づいた試合形式で行う。
8. 試合中は、他人のコーチングを受けてはならない。応援する者は、コートの中に入ってはならない。
9. プレーヤーは、品位を欠く言動、行動をしてはならない。そのような行為があったときには、試合を没収することがある。常日頃からプレーヤーとしてのマナーに留意すること。
10. 控えの試合の選手は、コート周辺で待機すること。試合の進行に協力すること。
11. 選手は、雨天の場合でも会場に集合し出席を届け、日程変更などの本部指示を待つこと。ただし、閲覧画面(<http://www.wada-system.jp/hhst/look.html>)に延期日程が記載された会場はその日は出欠を届ける必要はない。電話などでの問い合わせ、連絡は厳禁する。雨天時欠席の選手は順延した試合には出場できない。
12. 午前 7 時現在で予選会場該当地区（東・西・淡路・但馬）に大雨、暴風、洪水警報が発令されている場合は順延する。予選における警報発令に対する予備日は、原則 5 月 6、10 日とするが、会場校の事情により変わるので閲覧画面で確認すること。
13. 大会使用球は団体戦、個人戦共に、「ウィルソン US OPEN EXTRA DUTY」である。
14. この大会の個人戦の試合結果は閲覧画面で確認することができる。予選の記録のミスがあった場合は必ず 5 月 10 日までに自分の学校の顧問を通して大会事務局に申し出ること。期日以後の訂正には応じない。会場校の紙による記録と閲覧画面の記録が一致しなかった場合は会場校の紙による記録を優先するものとする。なお、この閲覧画面は予選（4 月 25 日～5 月 24 日）、本戦（5 月 25 日～6 月 24 日）の期間にしか閲覧できない。それ以後は高体連ホームページ(<http://www.hyogo-tennis.net/koutairen/>)の記録のページにある PDF ファイルを見るようにすること。

《 団体戦の注意事項 》

1. 各校は指定された時間（予選は出席〆切時刻9時15分（原則））までにメンバー全員及び監督が揃った状態で本部に出席を届けること。出席を届けない場合は失格となる。
2. 雨天の場合に備えて、予選会場校顧問と連絡先を交換しておくこと。
3. 原則として、試合開始の整列の際にいなかった選手は、以後の全ての試合に出場することができない。
4. 必ず監督（または校長の認める当該校の職員）の引率のもとで試合を行う。引率なしでの参加は認めない。
5. ベンチコーチは監督1名（または校長の認める当該校の職員も可）または登録選手1名に限る。
6. 審判はセルフジャッジで行う。
7. ファーストゲーム終了後に90秒の休憩を認め、ベンチコーチによるアドバイスを受けることができる。
8. 各校は予選会場で出席時に2球入り4缶、ボールを受け取る。尚、勝者は常にニューボール4缶を持って次の試合に臨み、準々決勝進出校は本戦にニューボール4缶を持参するのを忘れないこと。使用球は敗者校が残りのニューボールと共に持ち帰る。
9. 予選は、初回戦は3ポイントすべて行うが、以後は勝ち決定後ポイント打ち切りの場合がある。試合順はダブルス、シングルスNo. 1、シングルスNo. 2の順で行うものとする。
10. 会場には全員が使える更衣室がないので、試合のできる服装で集合することが望ましい。

《 推薦大会 》

- ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に、以下の選手を推薦する。
団体戦 男女各1校
個人戦 男子：シングルス6名、ダブルス3組
女子：シングルス3名、ダブルス3組
- ・近畿高等学校選抜テニス大会団体の部に、団体戦1位～3位校を推薦する。

《 順位決定戦 》

- ・男子シングルスで準々決勝敗者同士、男子ダブルスで準決勝敗者同士での順位決定戦を行う。
- ・女子シングルス・女子ダブルスで準決勝敗者同士での順位決定戦を行う。
- ・試合方式は1セットマッチ、6－6にて12ポイントタイブレーク方式で実施する。

《 その他 》

- ・選手、テニス部員、顧問以外（保護者など）の応援、観戦も可とする。ただし、発熱などの感染の疑いがある方の来場はご遠慮ください。
- ・声を出しての応援や応援歌、円陣等は可とする。
- ・タオルは、サイドライン延長線上の外側に置くことは認めます。